

# 市議会だより くくるめ



乗り心地はバッチリ 愛称「くるくる」命名者の内山聖さん  
(6月27日 コミュニティサイクル出発式)

第177号

平成27年  
7月15日発行

## 議会の新体制発足後 初めての定例会 活発な議論で24議案を議決

平成27年

CONTENTS 6月定例会号

- 定例会の概要 . . . . . 2
- 市政に対する一般質問 . . . . . 4
- 常任委員会の活動状況 . . . . . 7
- 議会広報委員会の紹介 . . . . . 8

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会  
久留米市城南町15番地3  
TEL 0942(30)9305  
FAX 0942(30)9720

重要無形文化財 久留米餅「耀」  
(公財)久留米餅技術保存会蔵

# 定例会の概要

平成27年第3回市議会定例会を、6月9日から23日までの15日間の日程で開催しました。

6月9日は、市長から平成27年度一般会計補正予算や屏水中学校校舎改築工事請負契約締結など23議案の提案説明がありました。

6月11日から16日までは、議員が市政に関する事務の執行状況や将来の方針について、市長に一般質問を行いました。(👉4P)

17日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、18日には総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された条例議案や契約議案などを審査しました。(👉2P)

19日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加提出される議案の取り扱いを協議しました。

23日の本会議では、各常任委員会の議案審査の結果報告があり、全ての議案を可決または承認しました。また、追加提出された教育委員会委員の選任に同意し、議会選出の農業委員会委員の推薦を行いました。(👉3P)

さらに、議会運営委員会委員の定数を9人から10人に変更することを決定、原口新五議員を新たに議会運営委員に指名し、第3回市議会定例会を閉会しました。

## 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

### ●第79号議案 久留米市景観条例の一部を改正する条例について〔付託先：建設常任委員会〕

歴史的な建物や自然などの重要な資源が数多くあり、地元住民が景観づくりに積極的に取り組んでいる京町とその周辺地域を「景観重点地区」に指定することに伴い、条例の一部を改正するものです。この改正は平成27年10月1日から施行され、地区内の建築物などの新築・増改築や夜間照明の設置などについては、市への届出が必要となります。

委員から「今後、景観重点地区をふやす予定はあ

るのか。また、想定される地区の住民に対してどのように働きかけていくのか」との質疑があり、都市計画課から「自然や文化、歴史などの魅力があるところを対象とし、新たな地区の指定については、寺町<sup>やまづと</sup>一帯や田主丸町にある山苞の道などを候補として考えている。住民への働きかけとしては、地域の魅力を再認識していただけるよう、まち歩きなどに取り組んでいる。他の地域についても、そのような取り組みを通して、地域住民とともに景観重点地区への指定につなげていきたい」との答弁がありました。



市内各所の景観をPRする「景観だより」

### ●第63号議案 平成27年度久留米市一般会計補正予算(第1号)〔付託先：総務常任委員会〕

建設現場における全国的な労務賃金などの急激な変動に対処するよう国からの要請に対応するため、久留米シティプラザ建設に関して3億7,120万円の追加補正をするものです。

委員から「前回と今回の労務単価の引き上げで、合計していくらの増額になったのか。また、労務単価の引き上げ以外の増額も含めて、基本設計から全体でいくら増額したのか」との質疑があり、久留米

シティプラザ推進室から「まず、基本設計において、舞台音響をより良くするための音響反射板を工夫し、六角堂広場に子どものにぎわいの場をつくるなど、施設機能などの見直しにより12億5,000万円を増額した。そして、労務単価などの引き上げで合計18億円を増額しており、基本設計からの増額の合計は30億5,000万円となっている」との答弁がありました。



ザ・グランドホール完成予想図

可決!

●第64号議案 日吉小学校校舎改築工事請負契約締結、第65号議案 同電気設備工事請負契約締結、第66号議案 同機械設備工事請負契約締結について〔付託先：教育民生常任委員会〕

日吉小学校校舎改築について、入札により工事請負人を定めたため、それぞれの業者と契約するもので、新校舎は平成28年12月頃に完成する予定です。

委員から「今回の改築では、普通教室を18教室まで対応可能としているが、6年生まで35人学級が導入された場合でも対応できるのか。また、新校舎建設のため、現在の学童保育所を解体するということであるが、工事期間中はどのように対応するのか」との質疑があり、学校施設課から「現在の普通教室は13教室であるが、文部科学省の国庫補助の基準を踏まえて、普通教室として活用できる教室を18室まで確保している。学童保育所については、工事期間

中は現在の校舎内の<sup>※</sup>余裕教室を利用する」との答弁がありました。

※余裕教室…児童生徒数の減少などにより普通教室の数にゆとりが生じた際に、さまざまな用途に活用することができる教室のこと。



日吉小学校完成予想図（南西側）

同意した人事案件

市長が選任または任命する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。（敬称略）

●教育委員会委員 城南町 日野 佳弘

推薦を決定

議会が推薦する農業委員を決定しました。（敬称略）

●農業委員会委員 北野町 吉富 巧  
大善寺町 森崎 巨樹

議員の表彰

6月17日に開催された第91回全国市議会議長会定期総会において、前議員を含めた8人が表彰を受けました。なお、ことし4月1日時点の在職年数で表彰されています。

全国市議会議長会表彰

25年	佐藤 晶二議員	石橋 力前議員
20年	森 多三郎議員	金丸 憲市前議員
	堀田 富子前議員	
15年	永松 千枝前議員	
10年	永田 一伸議員	田中 良介議員

提出議案の審議結果は、ホームページでご覧いただけます。

久留米市議会 議案と結果

検索



クリック

今回は、大学生が持つポテンシャルの活用、ラグビーW杯のキャンプ地誘致、6次産業化の取り組み、地元就職する若者をふやす取り組みなどについて、質問が出たっば。

## 市政に対する 一般質問



久留米市  
イメージキャラクター

くるっば



ごみを再資源化する施設への切りかえを

日本共産党 金子 むつみ

**問** 本市では、平成27年度の可燃ごみ量を8万4,315トンと予測している。その内訳の9割を占める生ごみやプラスチック類などは再資源化できると考えるが、現在建設中の宮ノ陣クリーンセンターを、ごみを焼却する施設ではなく、生ごみとプラスチックを再資源化する施設に切りかえることはできないか。

**答** 生ごみの再資源化については、再資源化後の活用などの課題があるため、生ごみ処理容器等への補助など、家庭や地域でのごみ減量を推進している。

また、プラスチックについては、宮ノ陣クリーンセンターの稼働にあわせて、白色トレイ以外も一部拡大して分別収集を開始し、リサイクル施設で中間処理を行い、再資源化することとしている。

宮ノ陣クリーンセンターは、将来を見据え最も安定的で効率的・経済的なごみ処理施設として、今後建設を推進していく。



大学生が持つポテンシャルの活用は

明政会議員団 石井 秀夫

**問** 本市では、市内の各大学などと幅広い分野で事業協力があり、学習習慣定着支援事業での大学生との連携は一番身近に感じられるものである。

今後どのように連携して、大学生が持つポテンシャルを活用していくのか。

**答** 市と高等教育機関が連携して地域課題の解決にあたることを目的として、5つの大学などと包括的な事業協力協定を締結している。

この協定に基づき、平成26年度は190件の協力事業を実施しており、27年度は久留米シティプラザに関連した事業として、学生が商店街等と協働し、にぎわいづくりを企画し、実現する取り組みも始める。

今後も、各大学などに設置された地域連携組織との連携を強化し、学生が主体的にまちづくりにかわり、地域への関心や愛着を持てるような取り組みを積極的に進めていきたい。

## ※胃がんリスク検査結果の検証を

公明党議員団 田中 功一



**問** 本市では、胃がんリスク検査を平成25年度から41歳の市民を対象に実施している。この検査結果を胃がん検診やピロリ菌の除菌につなげるためには検証が必要だと思うが、どのように考えているか。

また、胃がんの予防対策や早期発見、早期治療による医療費適正化のために、検査対象者を拡大すべきではないのか。

**答** 検査の受診率は向上しているが、ピロリ菌に感染していると判定された方で、市の胃がん検診を受診した方が少ないため、未受診者を把握し、確実に検診受診につなげていくことが課題だと認識している。今後は、リスクが高い方で検診未受診者を対象として検査後の動向調査を行い、胃がん検診の受診勧奨を行っていききたい。

検査対象者の拡大については、国のがん検診全般の見直しの状況を踏まえながら研究していききたい。

## 特殊詐欺の被害状況と対策は

公明党議員団 田中 貴子



**問** 高齢者人口の増加に伴い、全国の消費生活センターなどに寄せられる相談件数も増加傾向にある。

振り込め詐欺などの特殊詐欺は、電話をきっかけに詐欺行為が始まることが多いため、相模原市では迷惑電話をシャットアウトする迷惑電話チェッカーを貸与している。特殊詐欺の被害を未然に防ぐために、本市ではどのような対策を取っているのか。

**答** 特殊詐欺の手口は巧妙化・悪質化しており、久留米警察署管内での本年1月から5月までの認知件数は21件、被害額は約1億4,000万円で、件数・被害額とも昨年を大きく上回っている。

本市では、警察署や地域と連携して市民へ啓発することにより、被害に遭いやすい高齢者の見守りにつなげることや留守番電話機能を活用した防止策を出前講座で紹介している。今後も他市の事例を調査検討し、より効果的な特殊詐欺対策を講じていきたい。

※胃がんリスク検査…ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の状態を確認し、胃がんの危険度を分類する検査のこと。バリウム（造影剤）を飲んで行う胃部X線検査や胃内視鏡検査のように、直接胃がんを発見する検診ではない。

## ラグビーW杯キャンプ地の誘致を

久留米たすき議員団 大熊 博文



**問** 平成31年に日本で開催されるラグビーワールドカップの開催都市が決定し、九州では福岡市、熊本市、大分市で開催が予定されている。本市は開催地に立候補しなかったが、キャンプ地誘致に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**答** キャンプ地選定の過程や手続きなどの諸条件は、平成28年春以降に発表される見込みである。現在は想定される条件が市内の既存施設と合致するかの状況確認や本市在住の競技団体役員と意見交換するなど情報収集に努めている。

また、昨年7月に県と県内の自治体で立ち上げた連絡会議でも誘致活動に取り組んでいる。

キャンプ地の誘致は、市民のスポーツ推進に寄与するほか、市内外へのPRや経済効果も期待されることから、今後も県との連携を図るとともに、競技団体の皆様の支援をいただきながら進めていきたい。

## 市民会館跡地を活用した市民駐車場整備は

緑水会議員団 佐藤 晶二



**問** 市役所本庁舎は、地下1階と地下駐車場をつなぐことを想定して建設されたが、地下駐車場は建設されないまま20年が経過した。現在も地下1階の東側は擁壁で土どめがされた状態だが、どのようにメンテナンスしているのか。

また、市民会館跡地を活用し、新しい市民駐車場を建設する考えはないのか。

**答** 市役所本庁舎は、建築基準法に基づき、定期検査の実施など適切な維持管理に努めてきている。両替町公園側の壁面の強度不足を補うために設置した地下1階の擁壁は、専門家と協議の結果、耐久性・耐震性について安全上の問題はないと考えている。

また、市民会館跡地の活用は、平成25年第3回定例会で「市民駐車場を第一義的に検討していく」と答弁しており、解体に伴う諸課題については、市議会と協議しながら検討していきたい。

※迷惑電話チェッカー…振り込め詐欺を含む迷惑電話を色と音で警告する機械のこと。自宅を利用して固定電話に取り付けて使用し、警察から提供された迷惑電話番号などのリストが自動配信されることで、迷惑電話をブロックすることができる。



### 新幹線開通後の側道整備等の状況は

明政会議員団 塚本 篤行

**問** 九州新幹線全線開通から5年が経過したが、関連事業である沿線の側道整備や市道である金丸川橋梁のかけかえなどについては、事業が完了していない。開通時には完成すると期待していた側道は、いまだに用地買収が進んでいないが、これらの事業の進捗状況はどのようになっているのか。

**答** 新幹線関連事業の側道整備については、関係者のご理解をいただきながら用地買収を進めているところであり、今後、側道利用者の安全確保を十分に踏まえた側道整備に努めていきたい。

また、金丸川橋梁のかけかえについては、新幹線沿線周辺での工事となるため、現在JRなどとの協議を進めており、平成28年度の完成を目指している。

今後の新幹線関連事業については、沿線の関係者の皆様と十分な協議を行いながら、円滑かつ着実な事業推進に取り組んでいきたい。



### 諏訪野町一丁田交差点の早期改良を

明政会議員団 原口 新五

**問** 市内の道路網の中で長年の懸案事項である一丁田交差点は、国道3号と県道及び市道が変則的に交差しており、交通量が大変多い上に通学路となっている。福岡国道事務所による歩道などの基本調査が行われたと聞いているが、今後どのように交差点の改良を進めていこうとしているのか。

**答** 一丁田交差点は自動車交通量が多く、朝夕を中心に渋滞している。また、歩道も狭く、通学路の緊急合同点検でも安全対策が必要な場所となっている。

平成25年度に、福岡国道事務所が歩行者や自転車の通行空間確保を目的として国道3号一丁田自歩道整備事業に着手しており、現況調査や整備計画の検討が進められている。一丁田交差点の整備は、本市でも喫緊の課題と考えており、国や県と連携しながら、整備計画策定後の事業実施に当たっては、一刻も早い事業完了に努めていきたいと考えている。



### 小規模企業へのさらなる支援を

無所属クラブ 緒方 正子

**問** 全国の企業の9割を占める小規模企業者の衰退を受け、国は平成26年に小規模企業振興基本法を制定した。さらに、小規模企業者の意見等を聞き、基本計画が策定されたが、これらを踏まえ、本市では、今後どのように施策を検討し、実施していくのか。

**答** 本市では、これまでも積極的に中小企業振興の取り組みを進めてきたが、国の基本計画を踏まえ、27年度から、さらなる取り組みの追加や強化を行っている。具体的には、起業・創業支援として、新規開業資金の融資限度額の拡充を行うほか、需要開拓に向けた支援として、異業種交流を目的とした新連携ビジネスセミナーを開催する予定である。

今後は、法の趣旨と国の基本計画を踏まえ、商工団体や事業者などの声を伺いながら、小規模企業の振興のための事業展開を積極的に図っていくとともに、官民が連携した取り組みを進めていきたい。



### 6次産業化の取り組みと成果は

みらい久留米議員団 古賀 敏久

**問** 本市では平成24年度から、6次産業化推進事業費補助金と6次産業化交流会を2本柱として、6次産業化を推進している。また、農商工連携策としての見本市などの予算額も年々増加しており、事業を着実に推進していると感じられる。

これまでの6次産業化の成果と、課題を踏まえた上での今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 本市の6次産業化は、国の事業も活用しながら総合的に推進しており、これまでに商品開発と販路拡大の合計20件の事業を支援してきた。商品の情報発信の強化や販路拡大に課題があったが、農商工連携見本市を開催し、支援した商品が小売店等に新たに採用されるなど具体的な成果も出ている。

今後は、交流会の対象を市外にも拡大し、従来の事業もしっかりと継続するとともに、先進事例を参考にすることで取り組みを強化していきたい。

## 久留米市域への県営プール誘致は

久留米たすき議員団 原 学



**問** 筑後市では、現在、県営の50メートルプール建設の工事が進められているが、屋外で8コースしかなく、大規模大会の開催は困難であると思われる。

本市では、平成18年に県知事に対し、公認50メートルプール建設の要望書を提出しているが、10年来の夢の実現である市域内への県営プール建設誘致に対する市長の見解と、その後の検討状況を伺いたい。

**答** 公認プールの建設は、市民の生涯スポーツの振興や競技スポーツの振興・発展に寄与するものであり、本市にとって必要なスポーツ施設であると認識している。

しかし、情報収集をする中で、立地条件の整った約2万平方メートルの用地確保や60億円以上の建設費用の負担など大きな課題がある。そのため、市単独での建設は非常に厳しい状況であり、建設手法も含め、今後も調査・研究を継続していく考えである。

## 将来を見据えた教室不足への対応は

明政会議員団 田中 良介



**問** 小学校は、児童数の将来推計をもとに必要な教室数を見込んで建設されると認識している。しかし、人口がふえ、想定していた教室数を上回ると、教室不足に陥り、教育環境への影響が懸念される。

将来、学級数が増加し、教室が不足する恐れのある学校について、どのように対応していくのか。

**答** 本市では、毎年5月1日を基準とし、就学前の児童数と在学児童数を基礎として、今後6年間の児童数を推計している。

学級数の増加により普通教室が不足する学校については、今後も、各学校の教室活用の状況を踏まえながら、まずは余裕教室の有無を確認し、余裕教室がない場合に、授業への影響が少ない特別教室から普通教室への一時転用を検討していく。それでも教室が不足する場合には、教室を増設することで対応していきたいと考えている。

## 地元就職する若者をふやす取り組みを

緑水会議員団 森崎 巨樹



**問** 本市が人口規模を維持するためには、若者が安心して働ける場が必要である。しかし、平成27年4月の有効求人倍率は、福岡県の1.06倍に対し、ハローワーク久留米管内は0.79倍と低い状況にある。

若者が地元で就職するためには新たな雇用の場の確保が重要であるが、企業誘致に対する今後の取り組みを伺いたい。

**答** 本市では、地域経済の活性化や雇用の創出などを目的として企業誘致に積極的に取り組んでいる。今後は、地元就職する若者をふやすため、企業誘致を推進することがさらに重要になると考える。

そのため、自動車産業やバイオ産業の関連企業誘致に重点的に取り組むとともに、雇用創出効果の大きいオフィス系企業の誘致にも力を入れていきたい。また、立地企業の受け皿となる新たな産業団地の整備や官民連携の誘致活動にも取り組んでいきたい。

## 常任委員会の活動状況（5月）

久留米市議会では、4つの常任委員会が分野ごとに市の事務事業を所管しており、毎月委員会を開催しています。5月に開催した臨時会で各常任委員が決定しましたので、臨時会閉会後に常任委員会を開催しました。

▶ 5月27日 経済常任委員会、建設常任委員会

▶ 5月28日 総務常任委員会、教育民生常任委員会

今回は、7月以降の議会閉会中に開催する委員会で調査研究を行う項目について、各常任委員会で委員の意見を募りました。その結果、調査研究項目については、委員長を中心として調整していくことを各委員会で決定しました。

議会閉会中である7月と8月における各常任委員会の活動状況は、次回発行する178号でお知らせする予定です。

※オフィス系企業…コールセンター業務や情報処理、研究開発などの業務を行う企業のこと。

## 新人議員研修会を開催しました

4月の選挙で初当選した新人議員（10人）を対象にした研修会を開催しました。

議員としての任期開始を前に開催された5月1日の研修会では、「地方議員をめぐる状況について」、「議員の権利や義務について」、「定例会と臨時会について」、「委員会について」、「政務活動費について」などについて、議会事務局から説明がありました。

定例会の開会を1週間後に控えた6月2日の研修会では、本会議や委員会の審査の流れや議会用語の解説などを含めた議会運営について議会事務局から説明があり、過去の一般質問の動画などを参考にしながら理解を深めました。

これらの研修を踏まえ、6月に開催した第3回市議会定例会では、3人の新人議員が一般質問に立ちました。

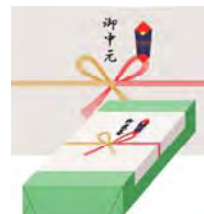


新人議員研修会の様子（左：5月1日、右：6月2日）

## 議員が寄附をすること、議員に寄附を求めることは禁止されています

公職選挙法では、選挙区内の者に対し、次のようなことを禁止しています。

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料の挨拶広告を出すこと
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること
- 議員が、年賀状や暑中見舞いなどの挨拶状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること



問い合わせ先  
選挙管理委員会事務局 TEL0942(30)9238

## 新しい議会広報委員会が発足しました



山下 尚  
森崎 巨樹  
石井 秀夫  
委員長  
古賀 敏久  
原 学

5月に議会広報委員会の委員が変わり、今号から議会だよりの編集に携わっています。

市議会の動きを皆様に分かりやすく伝えるため、今後よりよい紙面づくりに向けて努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。